

The
Rotary
Foundation



柴田 剛介

第2610地区財団委員会副委員長 (2024-2025)

第2610地区財団委員会委員長 (2025-2026)

ポール・ハリス・ソサエティ (PHS)

ポリオ・プラス・ソサエティ (PPS)

金沢ロータリークラブ所属

ロータリー入会 2017年4月12日



グランファルマ株式会社 代表取締役

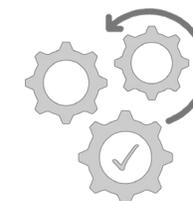
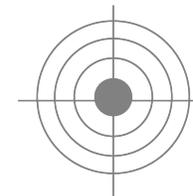
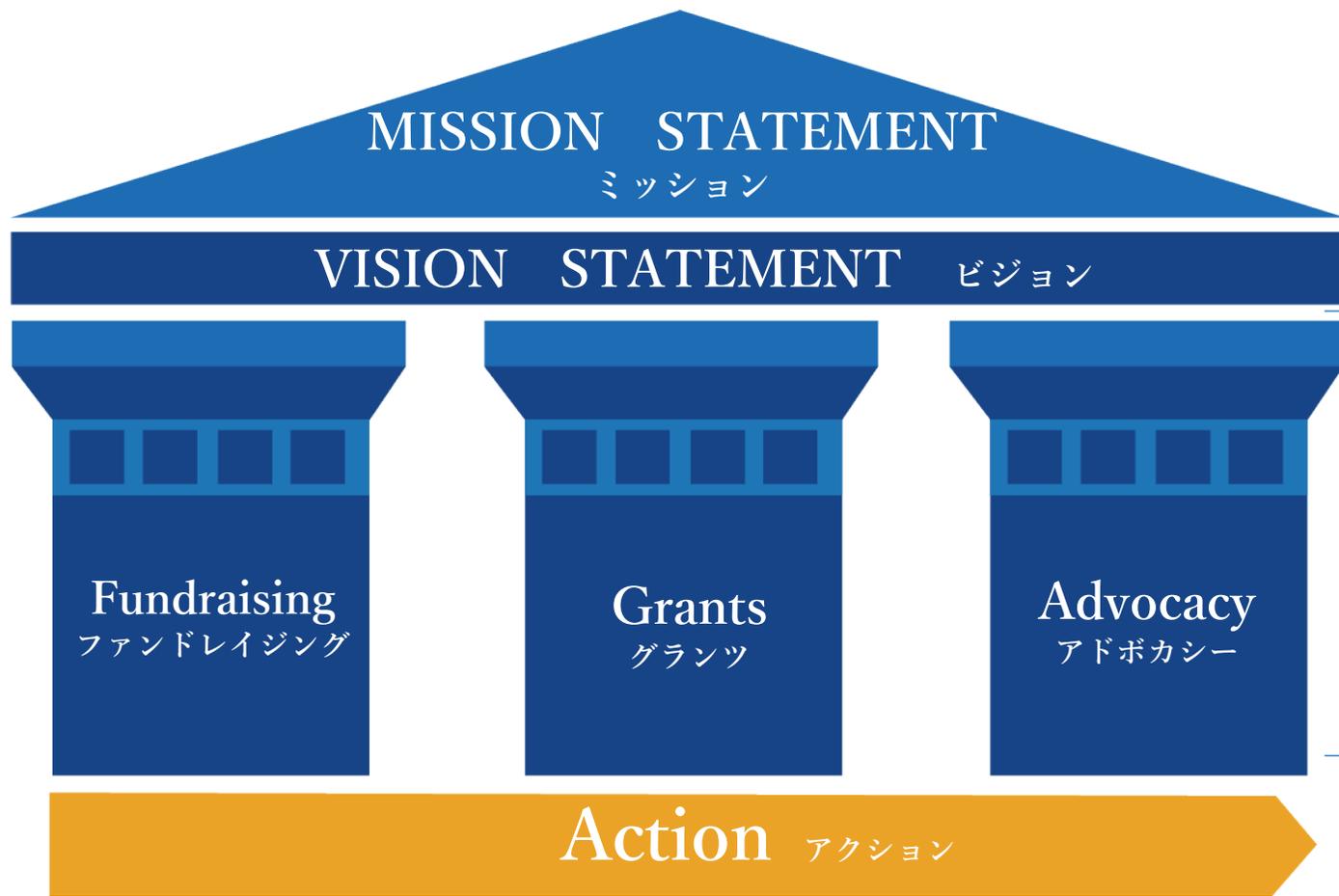
The
Rotary
Foundation



ロータリー財団について

TODAY

3 PILLARS





ARCH C KLUMPH

(1869-1951)

ロータリー財団創設者

(1928～)

MISSION STATEMENT

ロータリー財団は、ロータリアンが、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるように支援する。

VISION STATEMENT

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。



戦略的優先項目と目標

1. ポリオ根絶
2. 補助金を活用して、7つの重点分野における奉仕活動の持続可能性を高める
3. 地区財団活動資金DDFの全額活用を奨励する
4. 恒久基金として冠名基金を設置する

3つの言葉に集約される



Fundraising 資金調達

Grants 補助金

Advocacy 提唱活動

3 PILLARS (目的を支える3本の柱)

ロータリー財団（財団委員会）は、ロータリー財団の使命に共感するロータリアンに対して寄付の推進を行うことで、地域に根差した活動に対する支援的資金の拠出、また、貧困や災害などで苦しむ社会的弱者の救済活動へのロータリアンの自発的な行動を促します。

これにより、公共イメージの向上並びに人びとが手を取り合って、持続可能な良い変化を生み出す世界、地域社会に繋げていきます。

Fundraising 資金調達



3 PILLARS (目的を支える3本の柱)

ロータリー財団（財団委員会）は、ロータリー財団の使命に共感するロータリアンに対して寄付の推進を行うことで、地域に根差した活動に対する支援的資金の拠出、また、貧困や災害などで苦しむ社会的弱者の救済活動へのロータリアンの自発的な行動を促します。

これにより、公共イメージの向上並びに人びとが手を取り合って、持続可能な良い変化を生み出す世界、地域社会に繋げていきます。

Grants 補助金



3 PILLARS (目的を支える3本の柱)

ロータリー財団（財団委員会）は、ロータリー財団の使命に共感するロータリアンに対して寄付の推進を行うことで、地域に根差した活動に対する支援的資金の拠出、また、貧困や災害などで苦しむ社会的弱者の救済活動へのロータリアンの自発的な行動を促します。

これにより、公共イメージの向上並びに人びとが手を取り合って、持続可能な良い変化を生み出す世界、地域社会に繋げていきます。

Advocacy 提唱活動



3 PILLARS (目的を支える3本の柱)

ロータリー財団（財団委員会）は、ロータリー財団の使命に共感するロータリアンに対して寄付の推進を行うことで、地域に根差した活動に対する支援的資金の拠出、また、貧困や災害などで苦しむ**社会的弱者の救済**活動へのロータリアンの自発的な行動を促します。

これにより、公共イメージの向上並びに人びとが手を取り合って、持続可能な良い変化を生み出す世界、地域社会に繋げていきます。

A hand is shown holding a coin, with a sack of money visible in the background. A blue icon of a building with three columns is overlaid on the image. A white line connects the building icon to the text on the right.

Fundraising

資金調達

ファンドレイジングとは

非営利団体が社会課題の解決を目指す活動に共感を得ながら
必要な資金（寄付金等）を個人や
法人、政府などから集める行為

Fundraising

資金調達



基金の種類

4つの条件

様々な基金オプションを通じて、
効果的な資金調達を実現

寄付の目標

明確な目標設定により、計画的
な資金調達を推進

寄付者の認証

寄付者への適切な認証により、
継続的な支援を促進

基金の運用

効率的な基金運用により、持続
可能な活動を支援



基金の種類

年次基金

シェア、WF、7つの重点項目

恒久基金

シェア、WF

使途指定基金

ポリオプラス基金、災害救援基金、ロータリー平和センター

基金の種類

年次基金と恒久基金の違い

年次基金

Annual Fund

今日の活動を
支える

世界中の地域社会で、その地域に根差した活動並びに国際ロータリーが提唱する7つの重点項目に沿ったグローバルな活動を行なっております。このようなクラブの取り組みを支えている基金が年次寄付による年次基金であります。



補完関係

恒久基金

Endowment Fund

未来の活動を
安定したものに

恒久基金は元金を使わずに投資収益のみを使う基金です。これにより、世代を超えて多くの人々を支援することが出来ます。また、寄付額に応じて、寄付者の名前をつけた冠名基金も設立できます。



EVERY

ROTARIAN
EVERY
YEAR



(2004年採択 / 年次寄付を推進する世界マーケティング計画)

ひとり一人が、毎年、寄付してほしいという計画であり
毎年クラブと地区は、年次寄付の目標額を設定

寄付の目標 (2610地区)	年次基金	150ドル/メンバー
	ポリオプラス基金	30ドル/メンバー

寄付者の認証レベル

寄付者の認証



年次基金
(ポリオプラス基金、
用途指定寄付を含む)

「財団の友」会員	毎年100ドル以上のご寄付をいただく会員
ポール・ハリス・フェロー	1,000ドルのご寄付に対する認証
マルティプル・ポール・ハリス・フェロー	2,000ドル～9,000ドルのご寄付に対する認証
ポール・ハリス・ソサエティ (PHS)	毎年1,000ドル以上のご寄付を誓約
ポール・プラス・ソサエティ (PPS)	毎年100ドル以上のポリオ撲滅活動へご寄付を誓約

寄付者の認証レベル

恒久基金	ベネファクターの指定	1,000ドル以上寄付 又は遺言その他 遺産計画の受取人として ロータリー財団を指定
累 積	メジャードナー	累積寄付額が10,000ドル 以上の寄付者に贈られる 栄誉ある認証
	アーチ・クラフ・ ソサエティ	累積寄付額が250,000ドル以 上の卓越した寄付者に授与 される最高位の認証



寄付者の認証



運用実績（収益率）

	2023 - 2024	過去5年
年次基金	4.9%	3.2%
恒久基金	12%	7%

※ 4億8,200万ドル → 7億3,600万ドル





Grants

補助金

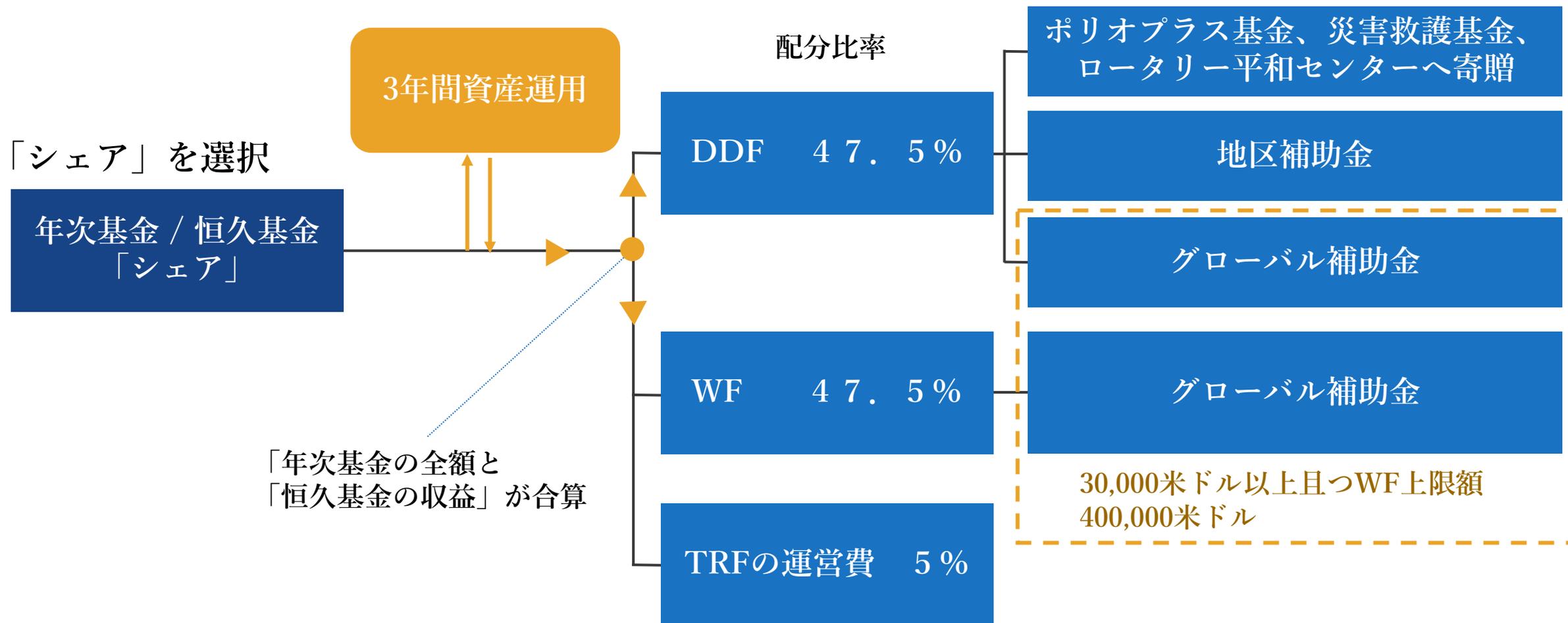
グランツとは

地域に根差した活動に対する支援
的資金の拠出

ここでは、
地区補助金とグローバル補助金に
ついて解説

寄付金が補助金として活用されるまでの流れ

シェアシステム



地区補助金 (district grants) とグローバル補助金(global grants)

地区補助金 (District Grants)

規則 (Regulation)

- 地区補助金は、地域社会のニーズに取り組む小規模で短期間の活動を支える
- 地区補助金としての拠出額は、**DDF利用限度額50%以内**
- 申請は、地区によって承認された後、一括してロータリー財団管理委員会へ申請・承認を受ける。

DDF利用限度額（2024－2025年度）

年次基金	\$ 129,737.54
恒久基金	\$ 9,500.00
合 計	\$ 139,237.54

☞ 地区補助金として利用できる金額は69,618.77米ドル

地区補助金 (district grants) とグローバル補助金(global grants)

規則 (Regulation)

グローバル補助金 (Global Grants)

- ロータリーの7つの重点分野において持続可能で測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動を支える
- 拠出額は、DDFからの拠出に加え、その**80%**の額が**WFから追加で拠出**される。
- 事業規模は**最低30,000米ドル以上**、授与されるWFの**上限額は400,000米ドル**となる。
- 申請は、事業を実施する地区又はクラブが直接ロータリー財団管理委員会へ申請・承認を受ける。

クラブの参加資格認定

申請するための条件

補助金管理セミナーへの出席が必要

クラブの覚書（MOU）への同意と署名

地区が独自に設けている要件への同意

Advocacy

提唱活動



アドボカシー（advocacy）とは

特定の問題に関して社会的弱者の権利を保護したり、主張を代弁したりする活動



ロータリーのアドボカシー活動

ポリオ根絶活動
(ポリオプラス基金)

平和フェローの育成
(ロータリー平和センター (恒久基金))

災害救援活動
(災害救援基金)



ポリオ根絶活動 (ポリオプラス基金)

1979年9月29日、フィリピンのマカティで、ロータリーとフィリピン保健省が児童への経口ポリオワクチン投与を開始

ジェームス L. ボーマー会長が最初のワクチンを投与
数年間で600万人の子どもに予防接種を行う計画立案
この活動はロータリーの「3-H」プロジェクトの第1号となり、後にポリオプラス・キャンペーンや1988年のGPEIの発足に繋がった。



ポリオ 現状

1988年以来、全世界のポリオの症例は99.9%減少

現在もポリオが常在する国は、アフガニスタンとパキスタンの2カ国のみ

野生型ポリオウイルスによる発症件数

	アフガニスタン	パキスタン
(年)		
2024	25	63
2023	6	6
2022	2	20
2021	4	1
2020	56	84

TAKE ACTION!



MY ROTARYに登録
寄付の準備をする



ロータリーカードで決済
ポリオプラス基金に寄付



PPSになる
年間100ドル以上の
寄付を確約



募金箱の設置
職場に募金箱を置く



ピンバッジでアピール
END POLIO NOWのピ
ンバッジをつけて啓発



チャリティゴルフ
ポリオ根絶チャリティゴ
ルフコンペに参加



世界ポリオデー
10月24日に寄付をする



DDFの寄贈
DDFの一部をポリオ
プラス基金に寄贈



平和フェローの育成
(ロータリー平和センター (恒久基金))

紛争解決と平和に関する国際問題について研究するためのフェローシップ
次世代の世界で活躍できる国際的リーダーを育成

ロータリーフェローシップは修士号取得プログラムと
専門能力開発修了証プログラムの2つのプログラム

ROTARY FELLOWSHIPS

平和フェローの現状

1.700+

平和フェロー
2002年以來の輩出数

140+

活動国
世界中での活躍

8

提携大学
世界7カ所に設置

政府、NGO、平和維持および法執行機関のほか、国連や世界銀行といった国際機関でリーダーシップを発揮しています。

アジア太平洋

- 国際基督教大学 (日本)
- チュラロンコーン大学 (タイバンコク)
- クイーンズランド大学 (オーストラリア)

ヨーロッパ・アフリカ

- ウプサラ大学 (スウェーデン)
- プラッドフォード大学 (イギリス)
- マケレレ大学 (ウガンダ・カンパラ)

北 米

- デューク大学 (アメリカ)
- ノースカロライナ大学チャペルヒル校 (アメリカ)

TAKE ACTION!



MY ROTARYに登録

寄付の準備をスムーズに進めましょう。



クラブからの推薦

クラブとして平和フェローを推薦する。



地区からの推薦

地区として平和フェローを推薦する。



DDFの寄贈

ロータリー平和センターへのDDF寄贈。



災害救援活動 (災害救援基金)

即時の救援

災害発生直後に現地のクラブがパートナー団体と連携してボランティア活動や物資供給

短期的な支援

被災地の生活を立て直すため、世界中のクラブと地区が義援金や物資提供のかたちで支援

長期的な支援

ロータリークラブが被災地の復旧・復興プロジェクトを計画、実施

災害別のロータリー災害救援基金

基金名	寄付受理の期限	補助金支給の期限
ブラジル洪水救援基金	2024年 8月31日	2025年5月8日
モロッコ地震救援基金	2023年12月31日	2024年9月21日
パキスタン洪水救援基金	2023年12月31日	2024年6月30日
ウクライナ救援基金	2023年12月31日	2024年6月30日

TAKE ACTION!



MY ROTARYに登録

寄付の準備をスムーズに進めるために、まずはMY ROTARYへの登録から始めましょう



能登半島地震復興支援

クラブで能登半島地震復興2610地区版補助金給付事業の制度を活用しプロジェクトを企画・実施する

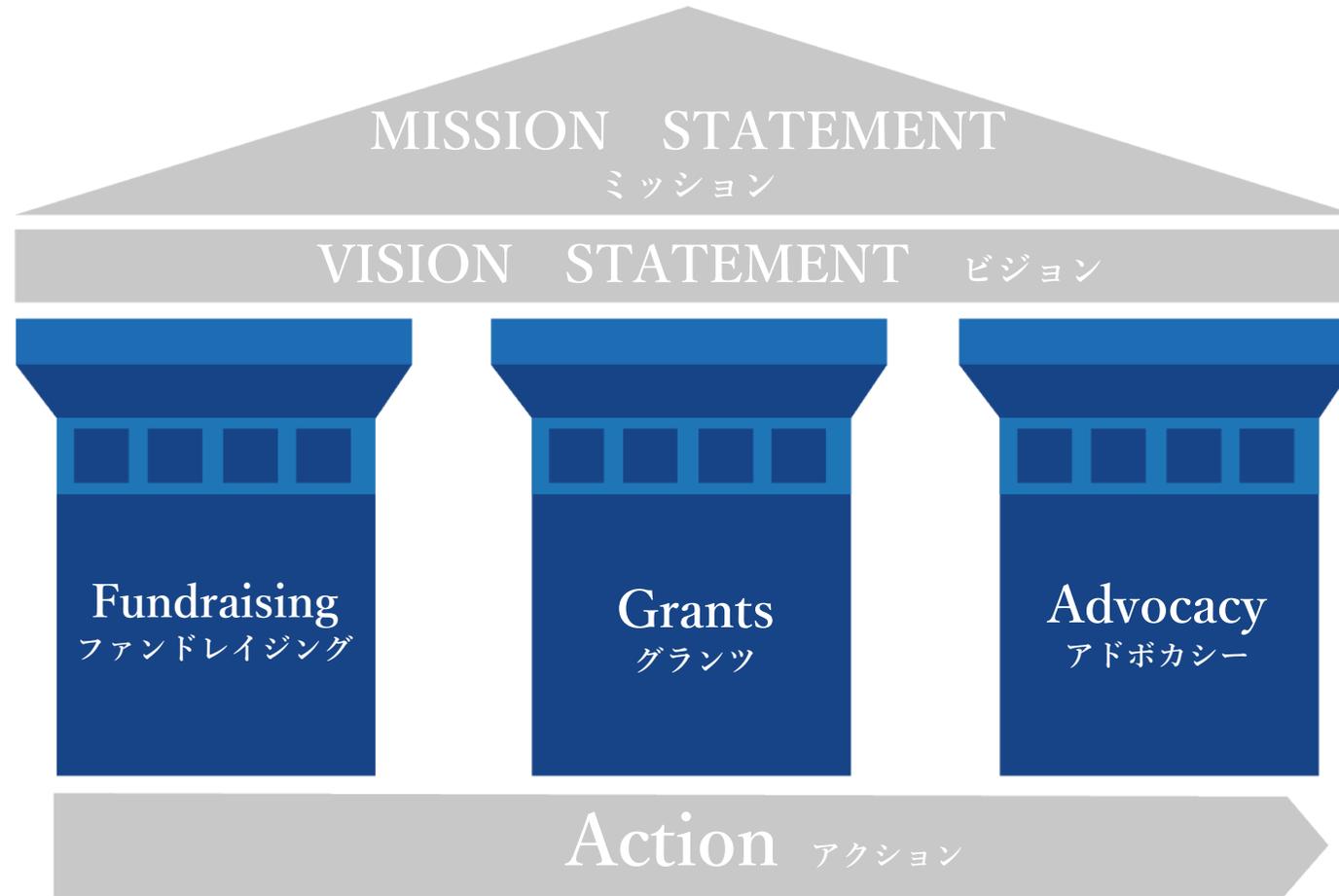


DDFの寄贈

DDFの一部を災害救護基金に寄贈し、支援活動に貢献する

TODAY

3 PILLARS



Thank You

